

# 市敬老会

## 米寿の人へ 長寿のお祝い

市では9月1日現在で米寿(88歳)と白寿(99歳)の人へ、民生委員・児童委員を通じて敬老福祉金を贈呈しています。そのうち米寿・白寿を代表して古源さんを市長が訪ね、花束などを届けました。

古源さんはお茶の稽古や俳句が趣味で、「よく食べて趣味を楽しむこと。畠仕事で体も使っています」と長寿の秘訣を語ってくれました。



なお、100歳以上の人には誕生日後に市から敬老福祉金を贈呈しています。



長寿を祝い、多年の功績に感謝の気持ちを込めて、9月17日(月)に文化会館フォルテで敬老会を開催しました。今年の対象者は4516人で、2847人が出席して元気な姿を見せてくれました。式典で市長は、「笑顔を忘れず、これからも元気に過ごしてほしい」と話しました。参加者を代表して午前の部では加藤英子さん、午後の部では米田繁雄さんが「これまでの知識や経験を若い世代に伝えるとともに、生きがいを持つて暮らしていきたい」と述べました。

そのほか、ヴィテンSMC保育園児・はぐさん保育園児によるリズム表現や、消費生活啓発劇団「くらしの一座」によるアトラクションも披露されました。

# 市総合防災訓練



8月19日(日)、全市民（全町内会）を对象とした市総合防災訓練が行われ、関係機関を含め約7900人が参加しました。今年の重点項目は「安否確認」、「避難行動要支援者の支援」、「拠点避難所の運営」の3点。市民は午前8時の緊急地震速報を合図に、町内会ごとに定められた一時的避難場所へ避難しました。そこで避難状況を把握し、所在が不明の世帯を対象に、家を見に行くなどして安否を確認。多くの町内会では消火訓練や炊き出し訓練などの個別訓練も実施しました。

一時的避難場所での活動終了後は、市内10カ所の拠点避難所へ集団避難し、地域住民の手で開設・運営する訓練を行いました。併せて、避難所ごとに救急救命訓練や図上訓練などの体験訓練を行い、災害時の行動を学びました。いざという時に正しい行動ができるよう、今回の経験を忘れないようにしましょう。

